

対面 & オンライン

シンポジウム

教育手法の変容と 教育空間へのインパクト

主催

東洋大学グローバル・イノベーション学研究センター
科学研究費助成事業「大学のグローバル化とDX化の教育空間へのインパクト」

2025

3.29 Sat

13:00-16:30



会場：東洋大学白山キャンパス

8号館M2会議室

(東京都文京区白山5-28-20)

定員：対面（10名）（先着順）

オンライン（100名）

（Zoomミーティングを使用）

対象：教育のDX化、ICT教育、国際教育
に興味をもつ大学教職員

参加費：無料



基調講演 木村 修平

（立命館大学生命科学部教授）

テーマ：「生成AIを活用したPBL
型英語授業の実践：教育ツールが
広げる可能性」



特別講演 鈴木 翔太

（東北大学情報部デジタル変革推進課
デジタルイノベーションユニット）

テーマ：「ともに進めるDX：
生成AIチャットボット構築に
おける学生との協同」



お申し込み方法：こちらもしくはQRコードから

申込締切：2025年3月21日（金）

* オンラインリンクは申込締切後にご登録メールアドレスにお送りいたします。

お問い合わせ：gic-staff1@toyo.jp（東洋大学グローバル・イノベーション学研究センター事務局）

:::概要:::

大学は教育のグローバル化、DX化、さらにコロナ禍でのリアルな学習の「場」の喪失を経験したことにより、教育空間が大きく拡張しています。本シンポジウムではこのような状況に対応する教育手法に焦点をあて、教育手法の変容がどのように教育空間へインパクトを与えているのかについて考察を深めることを目的とします。

本シンポジウムでは基調講演として立命館大学の木村修平氏をお招きし、授業における新たな取り組み（DX化）が教育空間にどのような影響を与え、どのような課題を生み出しているのかについて、情報共有をしていただきます。また、特別講演として東北大学の鈴木翔太氏より、大学職員の立場から大学のDX化の事例を報告していただきます。その後、学生・教職員はじめ、さまざまなステークホルダーとの対話の空間である学習空間、生活空間、学外空間のそれぞれの教育手法の変容についての事例報告を行います。

本シンポジウムを通して、参加者が各自の大学において新たな教育手法にどう対応するかを考えるための端緒を提供すると共に、参加メンバー間のネットワークも構築できればと考えています。

:::プログラム:::

13:00-13:05 開始、趣旨説明

13:05～13:50 基調講演

テーマ「生成AIを活用したPBL型英語授業の実践：教育ツールが広げる可能性」
木村 修平（立命館大学生命科学部教授）

13:50～14:20 特別講演

テーマ：「ともに進めるDX：生成AIチャットボット構築における学生との協同」
鈴木 翔太（東北大学情報部デジタル変革推進課デジタルイノベーションユニット）

14:20～14:35 休憩

14:35～14:50 事例報告①

テーマ「授業における教育手法の変容と教育空間へのインパクト」
今村 肇（東洋大学国際学部教授）

14:50～15:05 事例報告②

テーマ「混住型学生寮における教育手法の変容と教育空間へのインパクト」
三好 登（立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター助教）

15:05～15:20 事例報告③

テーマ「インターンシップにおける教育手法の変容と教育空間へのインパクト」
二子石 優（東洋大学国際教育センター特任講師）

15:20～15:35 休憩

15:35～16:05 パネルディスカッション

テーマ：「教育手法の変容と教育空間へのインパクト」

モデレーター

市川 顕（東洋大学国際学部教授）

パネリスト

木村 修平（立命館大学生命科学部教授）

鈴木 翔太（東北大学情報部デジタル変革推進課デジタルイノベーションユニット）

今村 肇（東洋大学国際学部教授）

16:05～16:25 質疑応答・全体討論

16:25～16:30 閉会

※プログラムは変更の可能性があります。

お問い合わせ：gic-staff1@toyo.jp（東洋大学グローバル・イノベーション学研究センター事務局）